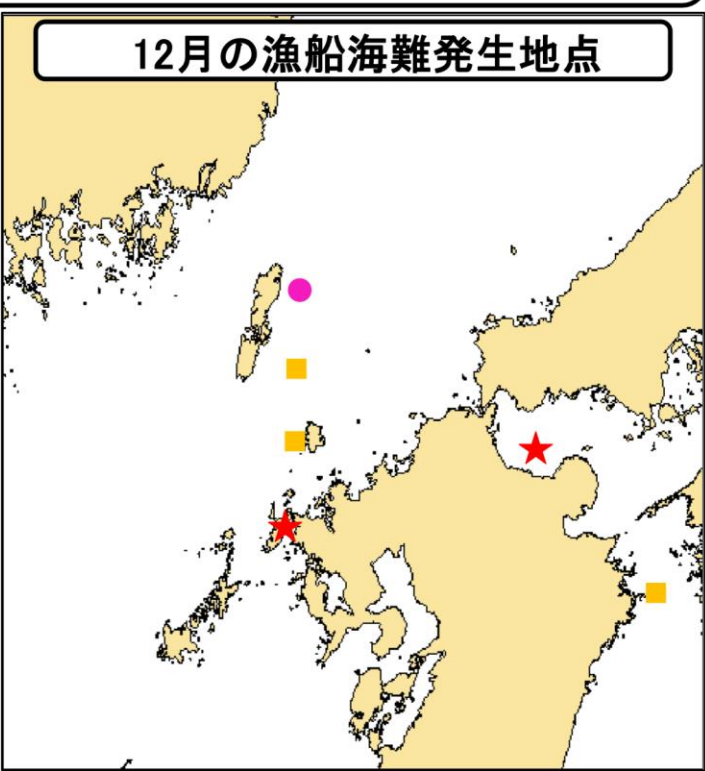


令和元年12月  
七管内漁船海難 計8隻

令和元年12月累計101隻(前年108隻)  
漁船海難発生累計件数は前年に比べ **7隻減少!!**

漁船海難隻数 (速報値)			県別内訳		
			12月	令和元年累計	
衝突	★	4	山口県 0	10(12)	
火災	●	1	福岡県 0	15(25)	
乗揚げ	■	3	佐賀県 0	8(9)	
			長崎県 5	51(43)	
			大分県 3	17(19)	
合計 8 隻 (前年 11 隻)			合計 8隻	101隻 (108隻) ( )は昨年同日	



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



<事故事例(乗揚げ)>  
一人乗りのA丸は、操業を終えて自動操舵により帰港中、居眠りをしたことから岩場に気づかずに乗揚げました。その後、乗揚げにより生じた損傷箇所から浸水し沈没しました。

- ・航行中は自動操舵であっても必ず見張りを行いましょう。
- ・しっかりと体調管理を行い居眠りを起こさないようにしましょう。

## 注目 漁船セーフティラリー終了!!

- ・参加239団体中、**220**団体が無事故を達成しました。
- ・過去最高の達成率を記録するとともに、期間中の海難件数(21隻(前年比▲18隻))も過去最少と素晴らしい結果になりました。
- ・また**78**組合が**5**年連続で無事故を達成しました!!
- ・来年も漁船海難減少への取り組みをお願いします。

